




## 太刀 銘則宗



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	たち めいのりむね
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	昭和9年1月30日
解説	刃長80.2cm、反り3.2cm。細身で、腰反りが強く、踏張りがある。板目肌が映え、刃文は小丁字に小乱れが交じる。則宗は鎌倉初期の福岡一文字派の著名な刀工で、後鳥羽上皇の番鍛冶である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀 銘則宗
よみかた	たち めいのりむね
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していつひ (指定した日)	昭和9年1月30日
せつめい	日本刀(にほんとう)は、武器(ぶき)であるとともに、すぐれた美術品(びじゅつひん)として認(みと)められています。古くから刀工(とうこう)によって日本独自(どくじ)の作り方が受(う)けつがれています。この太刀(たち)は鎌倉時代(かまくらじだい)の後鳥羽上皇(ごとばじょうこう)に仕えていた刀工、則宗(のりむね)がつくったものです。